

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道21号 <small>せきがはら</small> 関ヶ原バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自：岐阜県不破郡垂井町日守 至：岐阜県不破郡関ヶ原町今須	延長 10.4 km	
事業概要 一般国道21号は、岐阜県瑞浪市を起点とし岐阜市、大垣市等の主要都市を経て、滋賀県米原市に至る延長約100kmの主要幹線道路です。 本事業の関ヶ原バイパスは、岐阜県不破郡垂井町日守から不破郡関ヶ原町今須に至る延長10.4kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、沿道環境の改善、災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。		
S47年度事業化	S54年度・S58年度 都市計画決定	S55年度用地着手
S58年度工事着手		
全体事業費	440億円	事業進捗率
計画交通量	15,100台/日	58%
供用済延長	6.1km	
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 137 / 648 億円 (事業費：115/605億円) (維持管理費：22/43億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 180 / 697 億円 (走行時間短縮便益：165/605億円) (走行経費減少便益：12/87億円) (交通事故減少便益：2.9/4.6億円)
		基準年 平成23年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=0.9~1.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.04~1.7(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.1~1.1(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.1(事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=1.3~1.3(事業期間 ±20%)		
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ②個性ある地域の形成 ・主要観光地(伊吹山ドライブウェイ)へのアクセス向上が期待される。 ③災害への備え ・第一次緊急輸送路として位置づけられている。 ・防災対策必要箇所の回避が可能となる。 ・冬期交通障害区間を解消する。 ④地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑤生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 ・騒音レベルの夜間要請限度超過の改善が期待される。		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 関ヶ原バイパスは、現道21号の交通量増加による騒音等の環境問題や、冬季積雪時における交通渋滞等の解消に十分な効果を果たすことが期待されており、関ヶ原町、垂井町、米原市の首長で構成される国道21号岐阜・滋賀バイパス建設促進同盟会より早期整備の要望(平成20年12月22日)を受けている。		
知事の意見 対応方針(原案)案のとおり、事業の継続について異存ありません。 今後の事業実施にあたっては、県内における他の直轄道路事業の進捗状況や優先度を踏まえ、本県と十分な調整をしていただくとともに、コスト削減の徹底をお願いします。		
事業評価監視委員会の意見 「事業継続」することは「妥当」である。		

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 現道では大型車の利用が多く慢性的な渋滞がみられる。
- ・ 夜間も大型車の利用が多く、現道の夜間騒音は72~75dBとなっており要請限度を超過している。
- ・ 降雪時には急勾配区間における大型車のスタックなどが発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 事業進捗率は58%、用地進捗率は85%（平成22年度末）
- ・ 不破郡垂井町日守～国道365号（L=6.1km）は、暫定2車線で供用済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 国道365号～不破郡関ヶ原町今須（L=4.4km）は、平成28年度以降の供用を予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

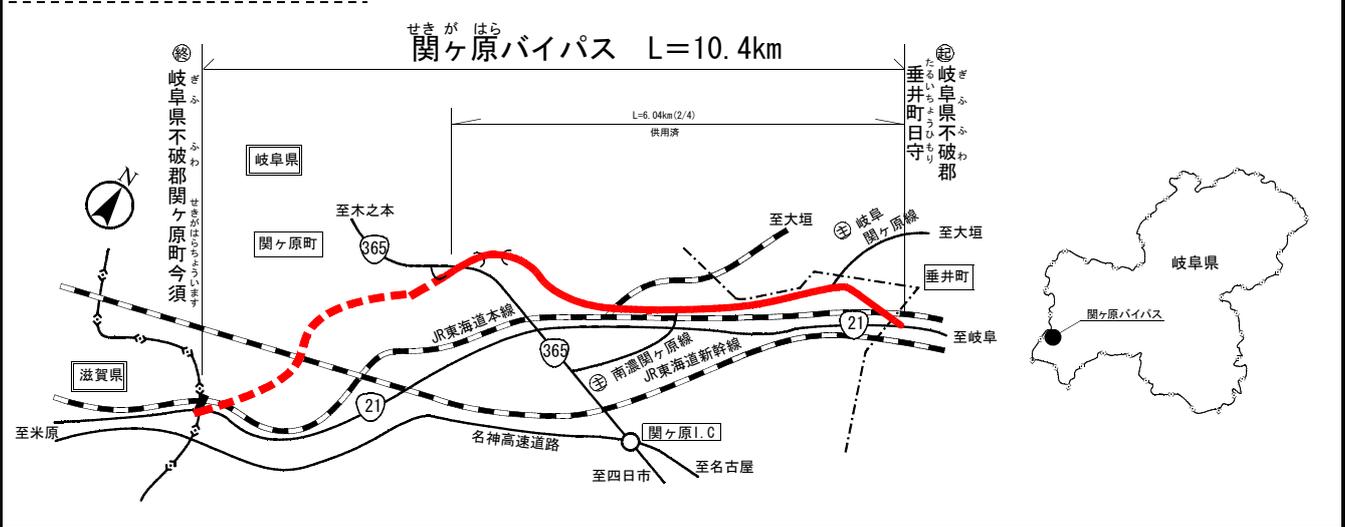
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。